



みなみつ子

◎教育目標「正しく、強く、ほがらかな子の育成」
鴻巣市本町8-7-23 TEL048-541-1107

在籍児童数
322名

違いを認め合う～違いは個性～

校長 森 奈緒子

日が暮れるのがだいぶ早くなり、朝夕の寒さが増してきました。校庭の木々や芝生も姿を変え、残暑厳しい中でスタートした2学期当初からの季節の移り変わりを感じます。冬の訪れとなりますが、玄関前の花壇ではこれから冬を乗り越えるパンジー、ビオラがきれいな花を咲かせています。また、校庭を見回してみると、あちらこちらに小さな花を咲かせた植物があり、温かい気持ちになります。

さて、11月8日（土）の校内音楽会では、多くの保護者の方にご参観いただきありがとうございました。保護者の皆様の前に入場してくる子どもたちの様子を見ていると、緊張の中にも嬉しそうな表情をしている子が多くいました。発表後にはたくさんの拍手をいただき、子どもたちの自信や達成感に繋がったと思います。保護者の方に公開する前に行った子どもたち同士の音楽会も、下級生は上級生を見て、「すごいなあ、あんな風になりたいなあ。」と思ったり、上級生は下級生を見て、「自分もこうだったな。」と振り返ったり、自分との違いや成長を感じるよい時間になったと思います。改めて、小学校6年間の子どもたちの成長と、1年生から6年生までが一堂に会して行う学校行事のよさを感じました。

ところで、11月15日～11月26日に「東京デフリンピック」が開催されました。デフリンピックは、「聞こえない人、聞こえにくい人のオリンピック」として1924年に初めて開かれ、今回が100周年記念の大会、そして、初めての日本開催でした。大会期間中、連日のように多くの選手の活躍やメダル獲得の様子がテレビ、新聞等で取り上げられていました。デフリンピックは、パラリンピックよりも歴史が古いために日本での知名度が低く、パラリンピックの知名度が98.2%に対し、デフリンピックは11.2%（東京2025デフリンピック大会サイト）だそうです。今回、知名度があがったと思いますが、私自身も、「デフリンピック」について詳しいことは不勉強だったので、東京開催のデフリンピックをきっかけに興味をもって調べたり、競技の様子を見たりした一人です。競技を見て驚いたことは、その様子がオリンピックで見る競技の様子とほぼ変わらないことでした。特に、チームでの連携プレーを要する競技も選手の動きが素晴らしいことに驚きました。今大会で金メダルを獲得した女子バレーボールチームの試合では、選手同士がアイコンタクトやジェスチャー、手話などでコミュニケーションを図ったり、応援したりしており、声がなくても心でつながる姿に感動しました。デフリンピックをとおして、最後まで諦めないこと、「聞こえないからできない」ではなく「工夫すればできる」ということ、違いはあってもみんなで楽しめること、違いは個性であることなどが選手の皆さんから伝わってきました。

12月4日から12月10日は「人権週間」です。デフリンピックをよい機会とし、子どもたちには、「自分も友だちも一人ひとりが違うことを知り、それぞれの違いを大切にすること」を伝えていきたいと思います。そして、互いのよさを見つけ、違いを認め合える南っ子を育んでまいります。

保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より、温かく南っ子を見守っていただきありがとうございます。引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願ひいたします。



校内音楽会 11月8日(土)

11月8日(土)の午前に児童発表の部、午後に保護者公開の部を実施いたしました。保護者公開の部には、たくさんの保護者の方々にご来校いただきました。体育館中に響き渡る子どもたちの発表に、胸を打たれた方もたくさんいらっしゃったのではないでしょうか。

校内音楽会をとおして、学年の友達と協力して合唱・合奏を作り上げる大切さや喜びを学ぶことができました。この経験を今後の学校生活にも生かしていきたいと考えております。



【1年生】



【2年生】



【3年生】



【4年生】



【5年生】



【6年生】

◆お知らせ◆

- 12月5日(金)は、教材費等の引き落とし日です。前日までに、残高のご確認をよろしくお願いします。
- 冬の服装について
 - ①手袋は、登下校や休み時間に使用できます。また、はつらつタイムや体育の走る運動等においても使用可です。
 - ②マフラー、ネックウォーマー、レッグウォーマーについては、登下校のみ使用し、授業や休み時間には使用はしません。
- ※体育的活動時の冬の服装については、別途配付の文書をご参照ください。
- 鴻巣市書きぞめ展は審査会のみとなります。